令和８年度　全国学力・学習状況調査　結果報告

令和８年４月２３日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、結果分析・今後の指導方針を下記の通りにご報告いたします。

結果

【成果】

教科	問題番号	領域／評価の観点／問題形式 問題の概要	正答率(%)	
			金津小	全国
国語	１一	話すこと・聞くこと／思考・判断・表現／選択式 構成メモの工夫として適切なものを選択する	83.1	73.9
	２三ア	言葉の特徴や使い方に関する事項／知識・技能／短答式 文章の一部を、漢字を使って書き直す	93.0	80.0
	２三イ	言葉の特徴や使い方に関する事項／知識・技能／短答式 文章の一部を、漢字を使って書き直す	64.8	45.2
算数	４（１）	データの活用／思考・判断・表現／記述式 アンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表１と表２の中から書く	67.6	56.2
	４（２）	数と計算、測定／知識・技能／短答式 計画を見て、全体で使える時間の中で「前半」に使う時間は何分間かを書く	85.9	78.1

【課題】

教科	問題番号	領域／評価の観点／問題形式 問題の概要	正答率(%)	
			金津小	全国
国語	２一	書くこと／思考・判断・表現／選択式 文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	53.5	57.9
	３三１	読むこと／思考・判断・表現／選択式 「話し合いの様子の一部」の空欄に入る内容として適切なものを選択する	50.7	55.5
算数	１（３）	図形／知識・技能／短答式 １立方センチメートルの立方体を３６個使ってできた直方体の体積を書く	28.2	40.1
	１（４）	数と計算、図形、データの活用／思考・判断・表現／記述式 四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	35.2	45.2
	３（２）	数と計算／知識・技能／短答式 ２つの小数のどちらが５に近いかを判断するための式を考え、計算をする	50.7	58.1

【成果】

・　国語科では、メモの工夫を選択する問題と漢字の記述の問題において正答率が高かった。メモについては、授業で学習するだけでなく、校外学習や出前授業などの機会に実際にメモをとる経験を積み重ねている。また、漢字は授業だけでなく家庭学習も含めて、ドリルやミニテストなどで漢字を練習し覚える機会を設けている。繰り返し学習して習得する項目において、正答率が高かったと言える。
・　算数科では、アンケート結果を整理して表に数値を記入したり、文章を読み計算をして時間を導き出したりする問題において正答率が高かった。必要な情報を整理して、答えを考えることができたと言える。

【課題】

・　国語科では、文章を読んで、その文章の工夫として適切なものやある部分に入る内容として適切なものを選ぶ問題において正答率が低かった。文章全体の流れを把握したり、文章の意図を捉えたりする点において課題があると言える。
・　算数科では、直方体の体積や資料を基に直方体の送料を求める問題、また数の大小を判断するための式を考え計算する問題において正答率が低かった。基本的な計算技能の習得だけでなく、問題文の内容を理解して活用する点において課題があると言える。

【改善策】

○　国語科では、一文や一段落の内容を理解するだけでなく、文章全体を俯瞰し、部分と部分のつながりや、筆者・登場人物の意図を考える学習を行う。
　→　文章を段落ごとに要約し構成を捉えたり、段落と段落の関係を考えたりする。
　→　内容を確認するだけでなく、叙述を根拠に筆者や登場人物の意図を考える。

○　算数科では、計算の仕方を覚えることにとどまらず、問題場面を具体的にイメージし、数量の関係を捉え、解決方法を考える学習を行う。
　→　問題文を読み、場面や数量の関係を整理する。
　→　式の意味を言葉で説明する。
　→　答えのおよその大きさや解決方法など、解決の見通しをもつ。

○　課題に対して多様な考えが生まれ、互いの考えを聴き合いながら話し合える授業を行う。
　→　異なる考えや自分にはなかった視点に触れることで、物事を多面的・多角的に捉えられるようにする。
　→　考えを比較したり関連付けたりすることで、自分の考えを見直し、より確かなものへと深められるようにする。
　→　「なぜそう考えたのか」「どこからそう考えたのか」を問い直すことで、理由や根拠を明確にする力を育てる。

７月３日（金）に「第１回指導主事学校訪問公開授業」が本校で行われました。今回は４年３組において算数科「垂直・平行と四角形」の授業を公開授業として行い、教育長をはじめ、教育審議監、指導主事の方、あわら市内の小学校の先生方にも参観していただきました。公開授業終了後は、「対話的な学びによる豊かな人間性の育成を目指した授業づくり」を研究主題として研究会を行い、対話を通してより深い学びになるよう議論が行われました。後期も児童の学力や学習状況がより向上するよう、教職員一同、日々努めてまいります。今後とも、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。